

参 考 手 本

高樹江雲に入る

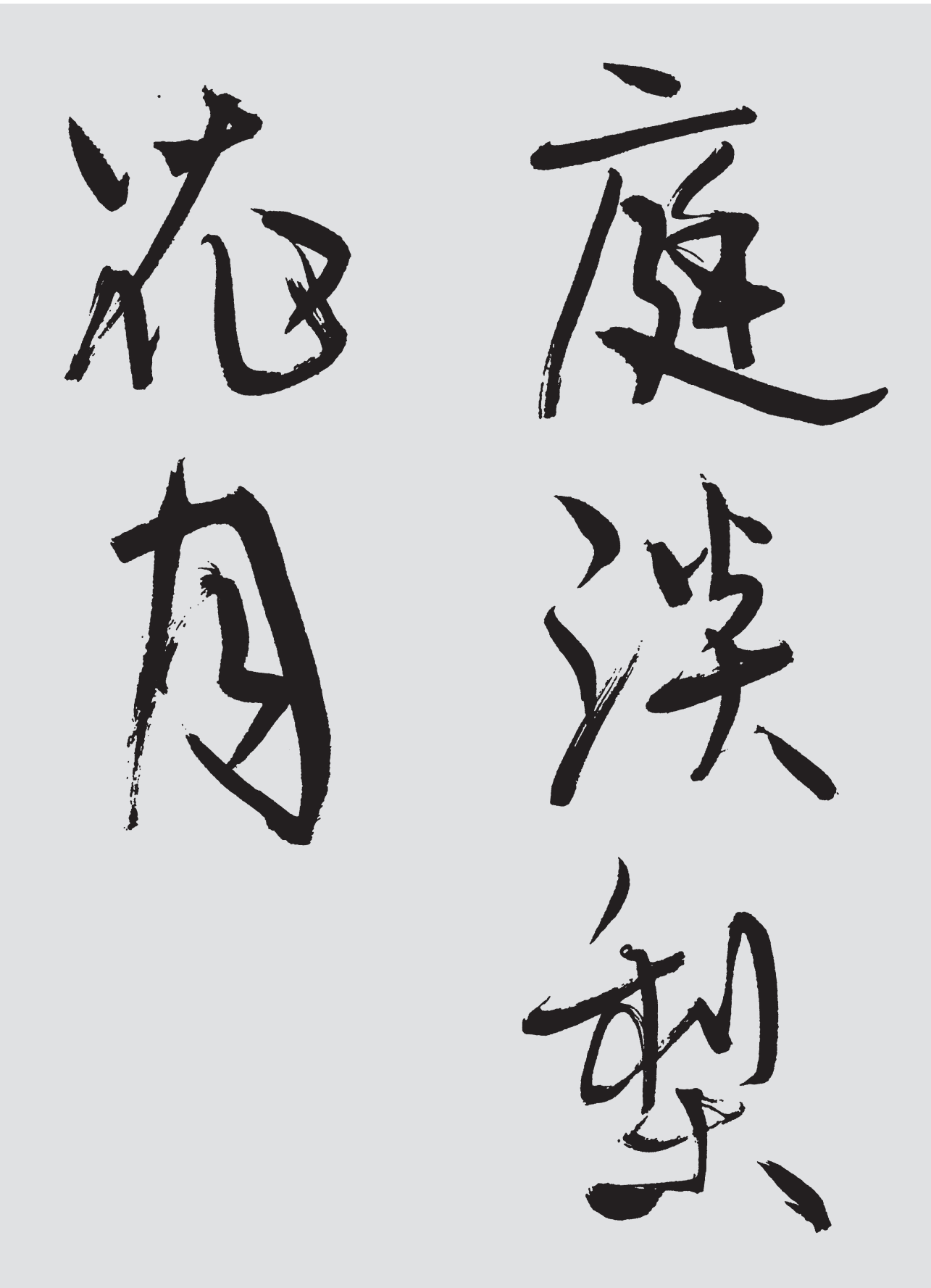
高 樹
江 雲
入

高 木 聖 雨 先 生

※これは規定課題ではありません。

参 考 手 本

庭に淡く梨花の月



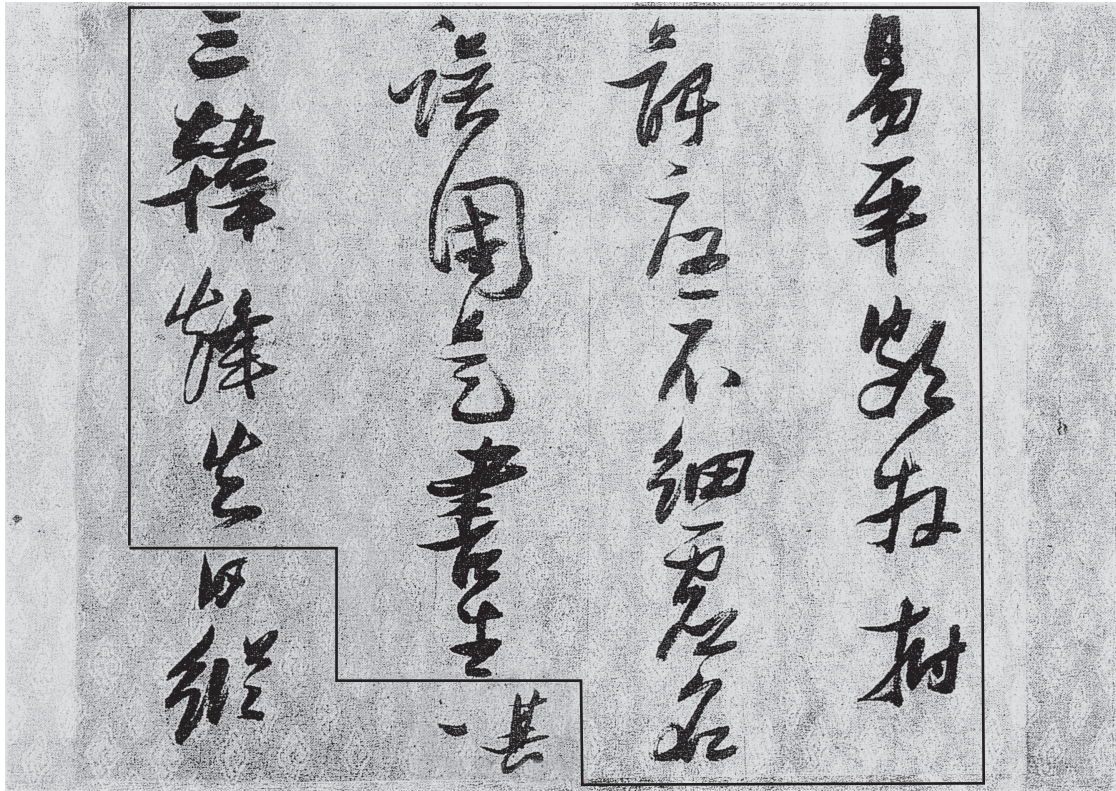
※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



張瑞凶 (明) 『感遼事作六首卷』③

易平頗牧拊

髀憂不細虛名

誤國是書生

三韓烽火日縱横

平たいらかなり易やすからんや

頗は・牧ぼく髀ひを拊うち 憂こまい細こまやかならず

虛名 国を誤るは是れ書生

三韓さんかんの烽火 日に縱横

平静でいられようか。

廉頗れんぼや李牧りぼくの名将ももが髀ももをたたいてもかなり心配、

虚名で国を誤るのはいつも書生なのだから。

三韓さんかんの烽火のうしは毎日いたる所からあがって、

【今月の課題】

「易平頗牧拊髀憂不細虚名誤國是書生三韓烽火」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(8月10日締切)

条幅規定

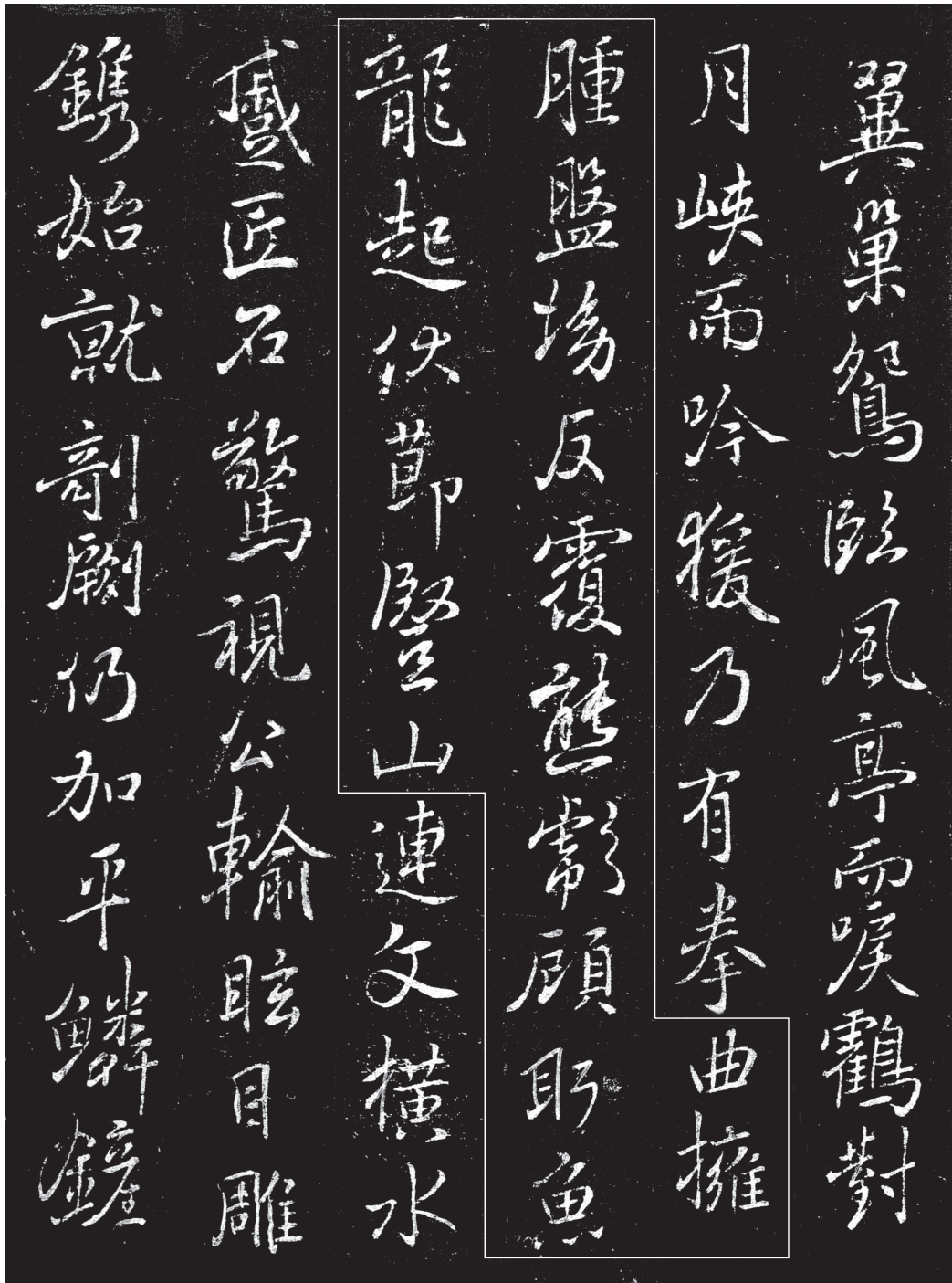
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑧



翼巢鴛。臨風亭而唳鶴。對
月峽而吟猿。乃有拳曲擁
腫。盤踠反覆。態彪顧眄。魚
龍起伏。節豎山連。文橫水
蹙。匠石驚視。公輸眩目。雕
鏤始就。剗刷仍加。平鱗鏤

翼を(比べて)鴛を巢くわす。
風亭に臨みて鶴を唳かしめ、月
峽に対して猿を吟かしむ。乃
ち拳曲擁腫、盤踠反覆し、熊
彪の顧眄し、魚龍の起伏する
有り。節の豎なるは山連なり、
文の横なるは水蹙まれり。匠
石は驚き視、公輸は目を眩ます。
雕鏤始めて就り、剗刷仍りて
加え、鱗を平らげ甲を鏤り、

(8月10日締切)

【今月の課題】「曲擁腫盤踠反覆態彪顧眄魚龍起伏節豎山」(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

黔首を寧んず。官寺を繕い、

養正性可以

正性を導養す可く以て

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



寧黔首繕官

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(8月10日締切)

条幅参考手本

星火乍明滅 螢光入檻流
 近來渾少睡 夏夜長於秋

来渾少睡夏夜長於秋

霞山書

朝平霞山先生

星火乍明滅 螢光入檻流 近來渾少睡 夏夜長於秋
 星火乍明滅 螢光檻に入つて流る 近來渾て少しく睡る 夏夜秋於りも長し

主幹 菅野翠濤

獨到山下宿 靜向月中行
 何処水辺確 夜春雲母声

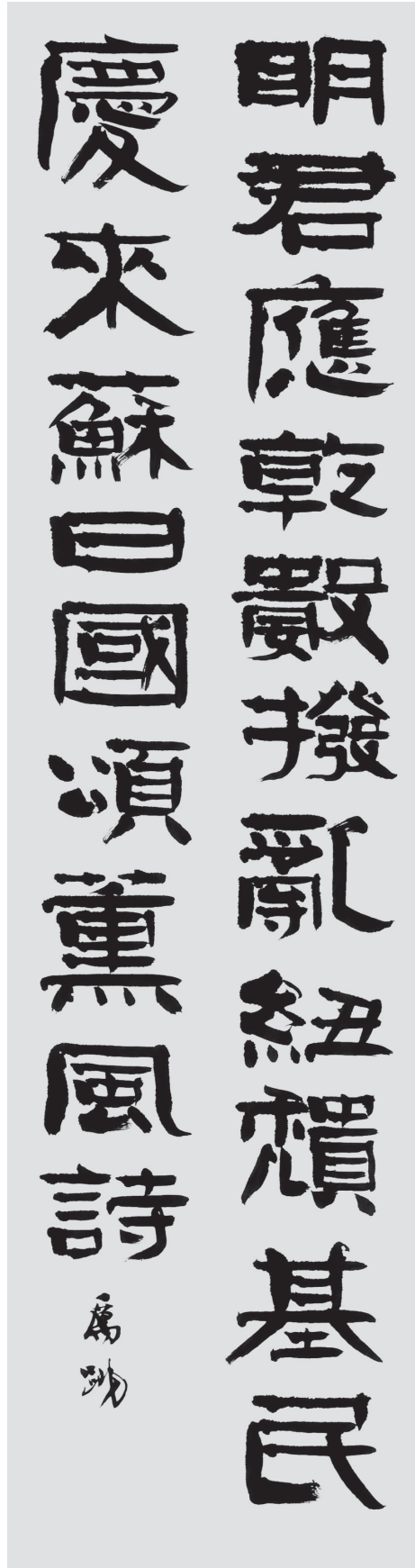
独到山下宿 静向月中行 何処水辺確 夜春雲母声

独り山下に到りて宿り 静かに月中に向かいて行く 何れの処にか水辺の確の 夜に雲母を春くの声ある

独り山下に到りて宿り 静かに月中に向かいて行く 何れの処にか水辺の確の 夜に雲母を春くの声ある

条幅参考手本

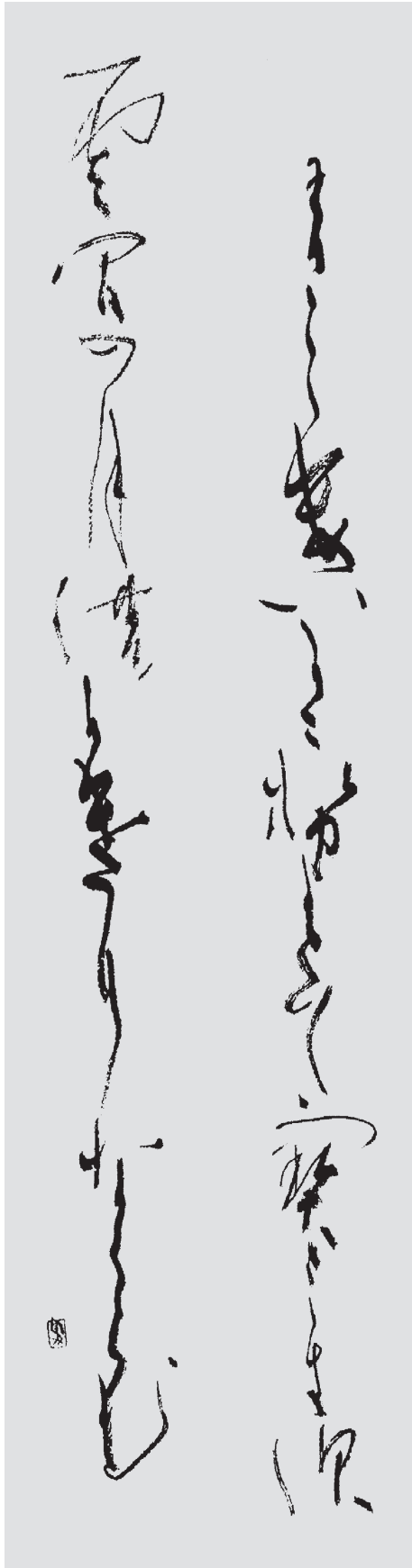
条幅かな



板垣厲跳先生

明君應乾數 撥亂紐積基 民慶來蘇日 國頌薰風詩

明君心に乾の数たるべし 乱を撥めて積基を紐べり 民は来蘇の日を慶び 国は薰風の詩を頌す



浮乗清郷先生

わが心いかにせよとてほととぎす雲間の月のかげに鳴くらむ (藤原俊成)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

(8月10日締切)

半紙かな（1級以下）

日向葵ひまわりの空そらがやけり波なみの群むれ
者利曾羅そうら也や个こ里り叁さん無む礼れ
 （水原秋桜子）

ひまわりそらなみむれ
 やけりなみむれ
 水原秋桜子

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

庭にはの面おもは月つきもらぬまでなりなりにけりけりこずこず糸いとに夏なつのかけ茂しげりりつつつつ
爾者於盤おもと萬ま利り二に道みち理り
 耳みみ可か个こ四し希き利り
 （白河院の歌） ※ちらし文字変換は自由

庭の面は月もらぬまでなり
 にけりこず糸に夏の
 かけ茂りつつ
 白河院の歌

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

若 月 久美子 先生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（8月10日締切）

浮 乘 清 郷 先生

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

七月夏の海の香の海藻に匂ふ夕
まぐれ兄もろもろに舟浮けて力を
ふるふ水馴棹いづれ舟出ははら
ま〜く波間に響く櫂の歌

支部名 段・級 姓 号

渡 邊 南 嶂 先 生

島崎藤村詩「新潮」より

(8月10日締切)

細 字

彼岸誦經祖先追慕
 彼岸誦經祖先追慕
 彼岸誦經祖先追慕

支 部

段 級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。

初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

誦經 経文をよむ。

(8月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

日ごとに陽射しも強くなり、木陰
 の恋しい季節になりました。
 支部 級 姓 号

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…部屋…眺め…星座…。

晴れた日の夜、部屋の明りを消して
 星を眺めながら、星座を探すのも
 楽しく幸せな気持ちになれる。
 支部 級 姓 号

田邊翠鶴先生

青柳江雲先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（8月10日締切）

中2用

支
部
名
大 寄
段 級 波 せ
名 前 る

渡 邊 南 嶂 先生

中3用

支
部
名 雲 眼
段 級 海 下
名 前 の

大 越 三 宗 先生

小6用

支
部
名 銀 空
段 級 河 の
名 前

渡 邊 南 嶂 先生

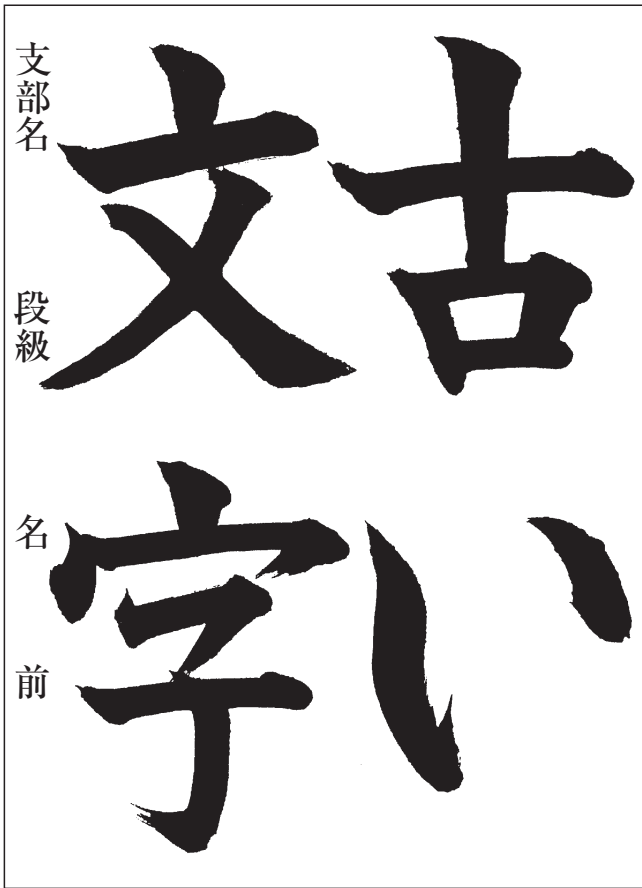
中1用

支
部
名 の 谷
段 級 音 川
名 前 水

渡 邊 南 嶂 先生

(8月10日締切)

小4用



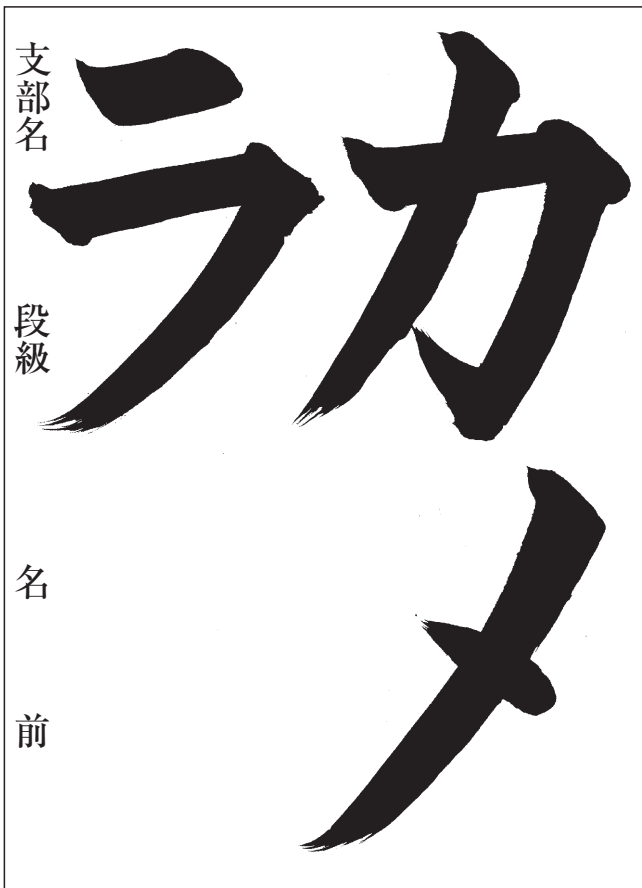
大越三宗先生

小5用



大越三宗先生

小2用



鈴木翡翠先生

小3用



鈴木翡翠先生

(8月10日締切)

中1

軽い運動で汗をかくの
が、最高の健康法だ。

中1~中3

中2

青い空に白い雲、夏は
海の恋しい季節だ。

青柳江

中3

夏は湿度が高く、蒸し
暑く、過ごさにくい。

雲先生

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

そら

鈴木蕙先生

小1・幼年

なつやすみ、えにっき
はなびうみ。

小1~小3

小2

なつ休み中に、ありの
かんさつをしたい。

鈴木蕙

小3

夏には、家ぞくでりよ
行に出かけます。

翠先生

小4

つゆが明け、太陽とと
もに夏がやってくる。

小4~小6

小5

さあ夏だ。暑さに負け
ず、海で泳ぎます。

田辺翠

小6

夏休みに、両親といっ
しょに富士登山をする。

鶴先生

(8月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名 段級 名前

海べの風
ながれ星

主幹 菅野翠濤

支部名 段級 名前

砂す
あつて清水や
岩の間

船久保棠苑先生

※半紙半分に書いて下さい。(8月10日締切) ※半紙半分に書いて下さい。

9月10日締切課題予告

A B部条幅規定 日縦横太白秋高胡騎輕實籍公卿多廟算虛憑山

C部条幅規定 連文横水蹙匠石驚視公輪眩目雕鐫始就劄

かな条幅規定 ももしきや古き軒端のしのぶにもなほあまりある昔なりけり(順徳院)

半紙規定(初段以上) 寺開南門闕

半紙規定(二級以下) 激瑩心神鑒

半紙かな(初段以上) ながらへばまたこのごろやしのばれむ憂しと見し世ぞ今は恋しき(藤原清輔)

半紙かな(二級以下) 天高し雲行く方に我も行く(高浜虚子)

9月10日締切学生部課題予告

中三規定 民芸品の店

中三硬筆 良寛は、禅僧、歌人、書家としても有名だ。

中二規定 西洋の学問

中二硬筆 開発が進むに従い、自然が破壊されていく。

中一規定 旅の思い出

中一硬筆 必要にせまられ、急な準備は間に合わない。

小六規定 秋風の音

小六硬筆 日曜の朝、食事を作る手伝いをしています。

小五規定 実りの秋

小五硬筆 夜に鳴く虫の声に、夏の終わりを感じます。

小四規定 波しぶき

小四硬筆 大空を鳥のように元気よく、とび回りたい。

小三規定 魚つり

小三硬筆 木かげに入ると、すずしい風がほおをなでる。

小二規定 プリン

小二硬筆 かせに、白い花びらがゆれています。

小一規定 あお

小一硬筆 かえるのがつしようがきこえてきます。

中学部かな ふきの葉に ぼんと穴あく 暑さかな

小学部小筆 夏の夜に 花火大会

令和5年後期昇段試験要項

左記により令和5年後期昇段試験を施行いたします。

* 作品縮切 ・ 漢字 仮名部 9月8日(金)

・ 実用文 細字 硬筆部 9月21日(木)

◎漢字部 臨書課題

◆A部 六段・五段に応試(用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つき)

楷書 元楨墓誌銘

行草書 吳昌碩・詩稿

隸書 乙瑛碑

P・20参照

P・20参照

P・21参照

◆B部 四段・三段に応試(用紙・謙慎サイズ40cm×160cm)

楷書 蘇慈墓誌銘

行草書 黃庭堅・松風閣詩卷

隸書 曹全碑

P・21参照

P・22参照

P・22参照

◆C部 二段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘

行草書 王羲之・集字聖教序

隸書 曹全碑

P・23参照

P・23参照

P・24参照

◆D部 初段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘

行書 王羲之・蘭亭序

P・24参照

P・25参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

◎かな部

◆A部 六段・五段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

さらでだにあやしきほどの夕暮に荻ふく風の音ぞきこゆる(斎宮女御)

(ロ)全懷紙「たて」に揮毫

月かげはおなじ光の秋の夜をわきて見ゆるは心なりけり(後撰和歌集)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「小島切」を半紙半分相当「たて」に書く

◆B部 四段・三段に応試

(イ)聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

秋の夜に雨ときこえて降るものは風にしたがふ紅葉なりけり(紀貫之)

(ロ)半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

此道や行人なしに秋の暮(松尾芭蕉)

(ハ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「関戸本古今集」7～8行相当「たて」に書く

◆C部 二段・初段に応試

(イ)半切「たて」に揮毫

木の間より洩り来る月の影見れば心づくしの秋は来にけり(古今和歌集)

(ロ)古典臨書(揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4～5行相当「たて」に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

最近生涯学習という事がしきりに言われているが、近年の急速な社会の変化は人々に常に新しい知識や技術の習得、豊かな教養を身に付ける事の必要を余儀なくさせている。

◆B部（二段以下に応試）

孔子は中国の春秋時代の思想家であり、儒教の祖として彼の理想は「論語」に詳しく語られており、日本にも大きな影響を及ぼした。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

横風吹雨入楼斜 壯観応須好句誇（岩波文庫『中国名詩選 下』P 275）

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙一枚に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

乾隆帝は中国歴代の皇帝の中で最も優れた文化人の一人である。王羲之の名品を蔵した「三希堂」を建てたのを始めとして、伝統的な文化に深い理解を示した。

◆B部 四段〜準二段に応試

本院定型用紙一枚に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

落款とは「落成の款識」の意味で、書画の作品に筆者が自署し、雅号等の印を押すことをいう。

出品の際、バーコードを必ず貼付の事。貼り忘れた場合は保留となります。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体を書く。）

※級から級への受験者はC部に応試のこと。今年例年にならない厳しい暑さとか。御自愛お祈り致します。

◎昇段試験 実物大手本料・応試料

科目	種別	六〜準五段を受験	四〜準三段を受験	二〜準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000		3,000 (2書体)
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

※合格者には段級証明書を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。

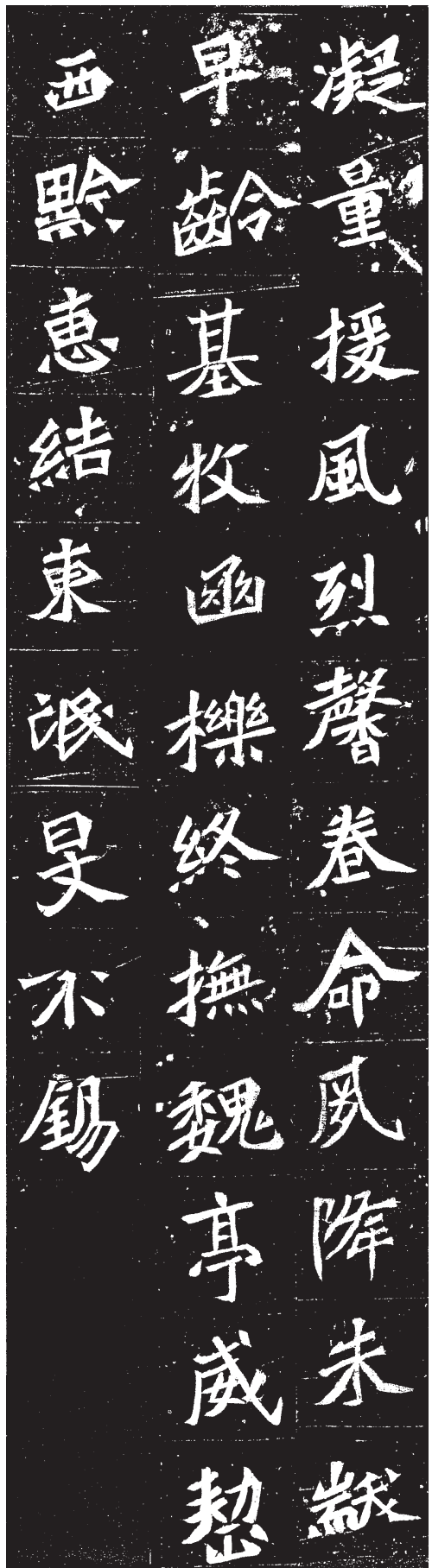
※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名

作品はそれぞれに鉛筆で記入）

※バーコード出品券にも現在の段級を記入し、一枚だけ貼り付けて下さい。

後期昇段試験課題 (六段・五段)

楷書 元楨墓誌銘 (北魏・作者不詳)



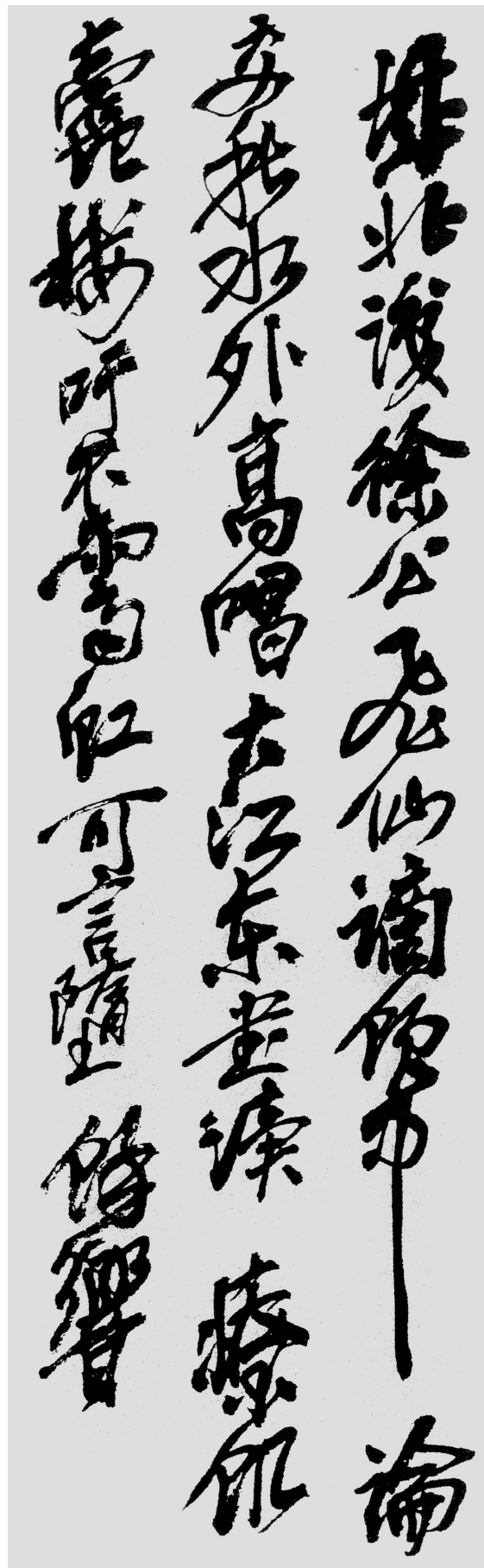
中国法書選25 P 13 / 14

凝量援風烈馨卷命夙降朱黻早齡基牧函櫟終撫魏亭威整西黔惠結束氓旻不錫 (33字)

聯落1/4繼に揮毫

行草書 吳昌碩詩稿 (清・吳昌碩)

中国法書選60 P 66



城北識徐公飛仙謫飲中論交秋水外高唱大江東書讀療飢蠹梅吁不霽虹可言墮餘響 (35字)

聯落1/4繼に揮毫

後期昇段試験課題

(四段・三段)

(六段・五段)

公諱慈字孝慈其先扶風人也九曲靈長河流出積石之下 (23字)



謙慎サイズに揮毫

楷書 蘇慈墓誌銘 (隋・作者不詳)

中国法書選26 P 51

一人典主守廟春秋饗禮財出王家錢給大酒直須報謹問大常祠曹掾馮牟史郭玄 (33字)



聯落¼繼に揮毫

隸書 乙瑛碑 (後漢・作者不詳)

中国法書選4 P 759

後期昇段試験課題 (四段・三段)

行草書 松風閣詩卷 (宋・黄庭堅)

可畫眠怡亭看篆蛟龍纏安得
此身脫拘攣舟載諸友長周旋

可畫眠怡亭看篆蛟龍纏安得此身脫拘攣舟載諸友長周旋 (24字)

謙慎サイズに揮毫

中国法書選47 P 12 ~ 14

隸書 曹全碑 (後漢・作者不詳)

主簿王歷戶曹掾秦尚功曹史王頴等嘉慕奚斯考甫之美乃

中国法書選8 P 28

主簿王歷戶曹掾秦尚功曹史王頴等嘉慕奚斯考甫之美乃 (24字)

謙慎サイズに揮毫

後期昇段試験課題 (二段)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐・歐陽詢)

同堯肌之如腊甚禹足之
胼胝針石屢加腠理

同堯肌之如腊甚禹足之胼胝針石屢加腠理 (18字)

半切に揮毫

中国法書選31 P 12・13

行草書 集字聖教序 (東晋・王羲之)

空外迷天萬里山川撥煙霞
而進影百重寒暑

中国法書選16 P 11

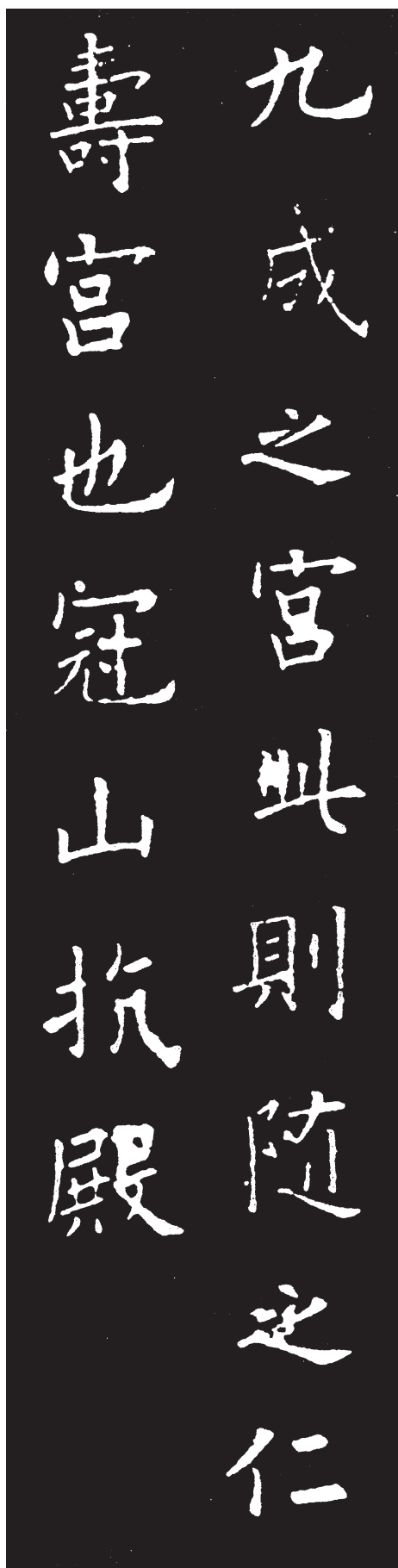
空外迷天萬里山川撥煙霞而進影百重寒暑 (18字)

半切に揮毫

後期昇段試験課題

(初 段)

九成之宮此則隨之仁壽宮也冠山抗殿 (16字)



半切に揮毫

楷書 九成宮醴泉銘 (唐・歐陽詢)

中国法書選31 P 5

(二 段)

北地太守父瑋少貫名州郡不奪早世是以位 (18字)



半切に揮毫

隸書 曹全碑 (後漢)

中国法書選8 P 8

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）



中国法書選15 P 14

永和九年歲在癸丑暮春之初會于會稽（16字）

半切に揮毫

今年度の
夏期講習会は行いません。

□年間入賞者表彰

月例作品で多数の入賞をされた方を表彰致します。

◆月例競書で年間に

一般 20点以上 学生 15点以上

入賞されている方は明細を添えて申請して下さい。

【点数計算方法】

令和4年8月号から
令和5年7月号まで
優秀賞（賞） 1回…2点
入賞（※） 1回…1点
として計算して下さい。

〔明細記入例〕

① ○月号	半紙規定三段	※	1点
② △月号	細字三段	※	1点
③ 4月号	細字三段	賞	2点
④ 5月号	実用文準四段	※	1点
⑤ 6月号	硬筆三級	※	1点

計〇〇点

◆期間

令和4年8月号から令和5年7月号までの1年間です。

◆締切 8月15日